

『ガス主任技術者試験問題解説集 平成 30(2018)年度版』正誤表

このたびは『ガス主任技術者試験問題解説集 平成 30(2018)年度版』をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本書につきまして誤りがございましたので、以下のとおり訂正させていただきますとともに本書をご愛用いただいている皆様にご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

一般社団法人 日本ガス協会

頁	年度	試験種別	科目	問題番号	項目	誤	正
P 24	平成 30 年度	(甲)	マーク 基礎	問 11	解答例	<p>(4) [都市ガス工業概要(基礎理論編) P133 (2) 圧力変化を利用した流量測定] オリフイスメーターにおける 流量：Q、差圧：P<sub>1</sub>-P<sub>2</sub>、比重：γの関係は</p> $Q = K \sqrt{\frac{P_1 \times P_2}{\gamma}}$ <p>となる。(例題 6.4 参照)</p> <p>与えられた条件より</p> $4 = K \sqrt{\frac{2}{\gamma}} \dots\dots \textcircled{1} \quad Q = K \sqrt{\frac{8}{\gamma}} \dots\dots \textcircled{2}$ <p>①と②より、 <math>\frac{Q}{4} = \frac{2\sqrt{2}}{\sqrt{2}} = 2</math> よって、<b>Q=8</b>となる。</p>	<p>(4) [都市ガス工業概要(基礎理論編) P133 (2) 圧力変化を利用した流量測定] オリフイスメーターにおける 流量：Q、差圧：P<sub>1</sub>-P<sub>2</sub>、比重：γの関係は</p> $Q = K \sqrt{\frac{P_1 \times P_2}{\gamma}}$ <p>となる。(例題 6.4 参照)</p> <p>与えられた条件より</p> $4 = K \sqrt{\frac{2}{\gamma}} \dots\dots \textcircled{1} \quad Q = K \sqrt{\frac{8}{\gamma}} \dots\dots \textcircled{2}$ <p>①と②より、 <math>\frac{Q}{4} = \frac{2\sqrt{2}}{\sqrt{2}} = 2</math> よって、<b>Q=8</b>となる。</p>
P 225	平成 30 年度	(乙)	マーク ガス技術	問 5	解答例	<p>ホ× 技省令第 4 条の 2 (正)移動式ガス発生設備及び整圧器(<b>1</b>の使用者にガスを供給するためのものを除く。)は、公衆がみだりに操作しないよう、適切な措置を講じなければならない。</p>	<p>ホ× 技省令第 4 条の 2 (正)移動式ガス発生設備及び整圧器(<b>1</b>の使用者にガスを供給するためのものを除く。)は、公衆がみだりに操作しないよう、適切な措置を講じなければならない。</p>
P 322	平成 28 年度	(乙)	マーク ガス技術	問 1	解答例	<p>ホ× LNGの主成分であるメタンの臨界温度は-82℃と非常に低い ため、<b>常温で</b>液化するには<b>この温度以下</b>にする必要がある。 [都市ガス工業概要(基礎理論編) P18 2.2.4 臨界現象]</p>	<p>ホ× LNGの主成分であるメタンの臨界温度は-82℃と非常に低い ため、液化するには<b>この温度以下</b>にする必要がある。 [都市ガス工業概要(基礎理論編) P18 2.2.4 臨界現象]</p>
P 327	平成 28 年度	(乙)	マーク ガス技術	問 2 3	解答例	<p>(5)× 排気ダクト接続型給湯器及び排気フード接続型給湯器は、排気 温度センサーやCOセンサー等の安全装置を備えているが、潜 熱回収型のもの<b>が</b>主流となっている。 [都市ガス工業概要(消費機器編) P236 8.3.3 ガス瞬間湯沸 器 (2) 業務用厨房の排気専用ダクトを使用する半密閉式瞬間 湯沸器 ② 排気ダクト接続型、③ 排気フード受け型]</p>	<p>(5)× 排気ダクト接続型給湯器及び排気フード接続型給湯器は、排気 温度センサーやCOセンサー等の安全装置を備えているが、潜 熱回収型のものが<b>主流</b>となっている。 [都市ガス工業概要(消費機器編) P236 8.3.3 ガス瞬間湯沸 器 (2) 業務用厨房の排気専用ダクトを使用する半密閉式瞬間 湯沸器 ② 排気ダクト接続型、③ 排気フード受け型]</p>